

ハイベースブレース偏心変換ソフトマニュアル

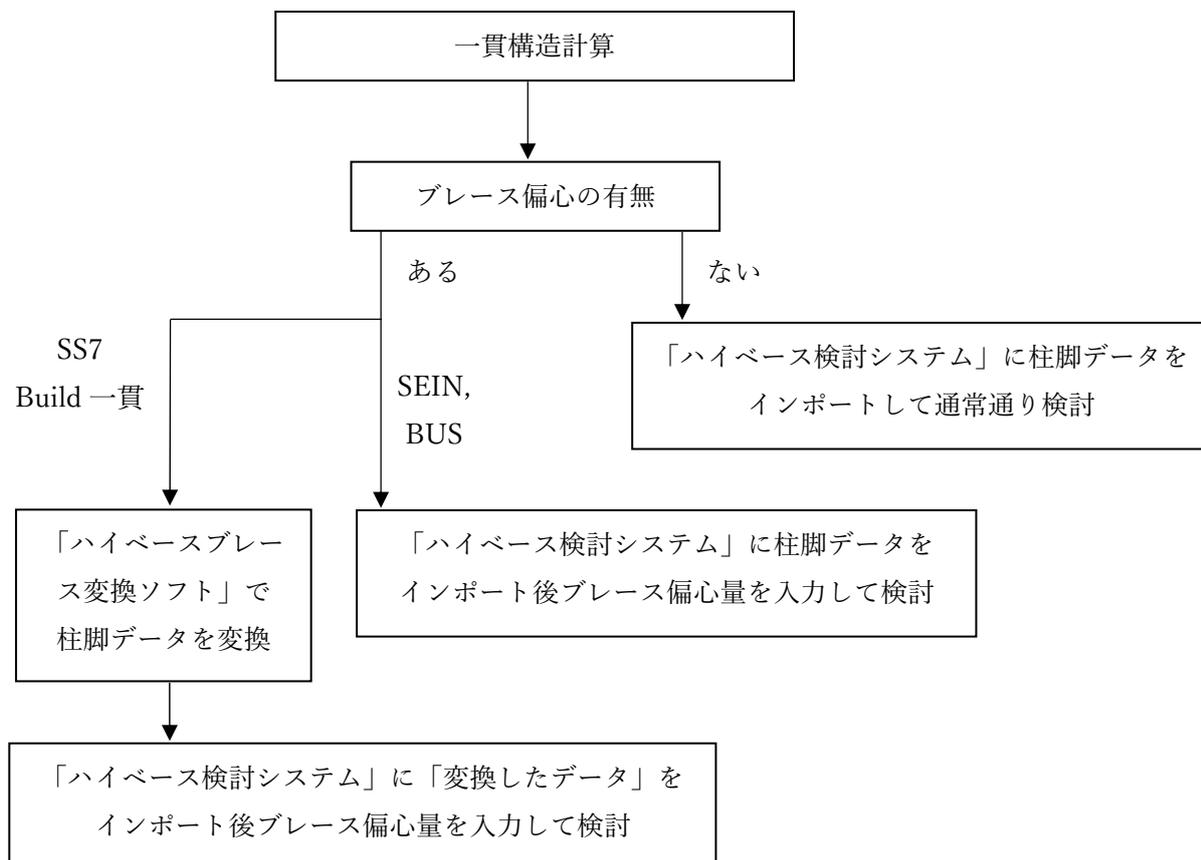
[概要]

本ソフトは、ブレースの偏心を考慮して検討する際に、ハイベース検討システムにインポートする柱脚データにブレース応力を取り込むために用いるソフトです。

対象一貫構造計算ソフトは[SS7],[Build 一貫]です。[BRAIN]をご使用の場合センクシアにお問い合わせください。

[SEIN][BUS(柱脚設計データが ver.4 形式)]で設計されている場合、本ソフトによる変換は不要で、柱脚データをそのままハイベース検討システムにインポートして検討することができます。

[ブレース偏心検討のフロー]



[変換手順]

- ① ハイベースブレース変換ソフトを起動



brace_convert.exe

- ② 柱脚データをインポート

柱脚データインポートをクリック

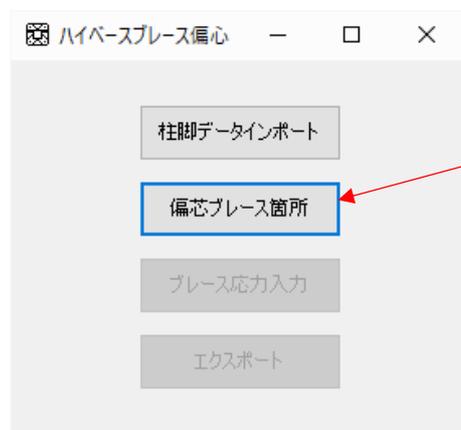
柱脚データを選択し、「開く」

Build 一貫の場合
ファイルの種類を
すべてのファイルに変更

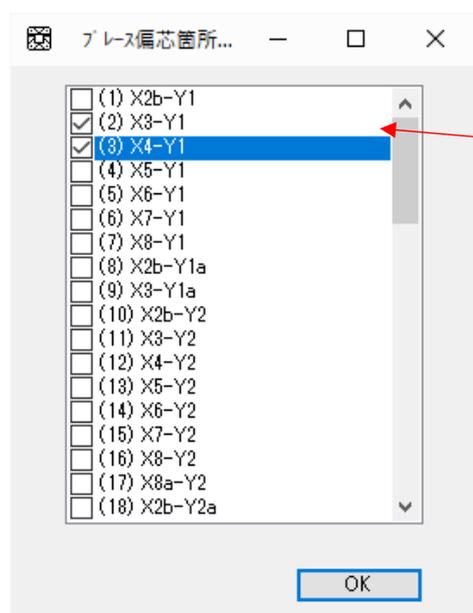
各一貫構造計算ソフトの柱脚データのファイル名

一貫構造計算ソフト	社名	ファイル名
Super Build/SS7	ユニオンシステム(株)	ckcal.csv
Build 一貫	(株)構造ソフト	〇〇〇.HBK

③ ブレースが偏心している箇所を選択



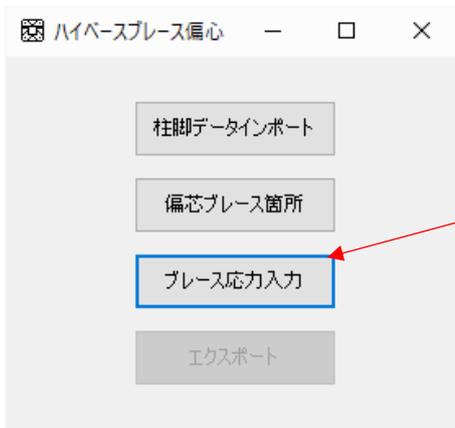
「偏心ブレース箇所」をクリック



ブレースが偏心している柱脚の箇所を選択

ブレースがあっても偏心していない箇所は
選択する必要はありません。

④ ブレース応力入力



「ブレース応力入力」をクリック

通り名		P1						P2						P3						P4					
X	Y	theta1	長期 X軸力	地震時 XL軸力	地震時 XR軸力	終局 XL軸力	終局 XR軸力	theta2	長期 X軸力	地震時 XL軸力	地震時 XR軸力	終局 XL軸力	終局 XR軸力	theta3	長期 Y軸力	地震時 YL軸力	地震時 YR軸力	終局 YL軸力	終局 YR軸力	theta4	長期 Y軸力	地震時 YL軸力	地震時 YR軸力	終局 YL軸力	終局 YR軸力
X3	Y1																								
X4	Y1																								

インポート OK

偏心ブレース箇所で作成した柱脚が表に表示されます。

各柱脚に対しブレースが取り付け方向(P1~P4)のブレース角度 θ ,短期LR軸力,終局LR軸力を入力してください。引張ブレースの圧縮方向など応力が生じていない場合、空欄とするか0を入力してください。(長期軸力の検討は未対応となっています)

ブレースが取り付けられない方向は、空欄とするか0を入力してください。

【SS7 の場合】

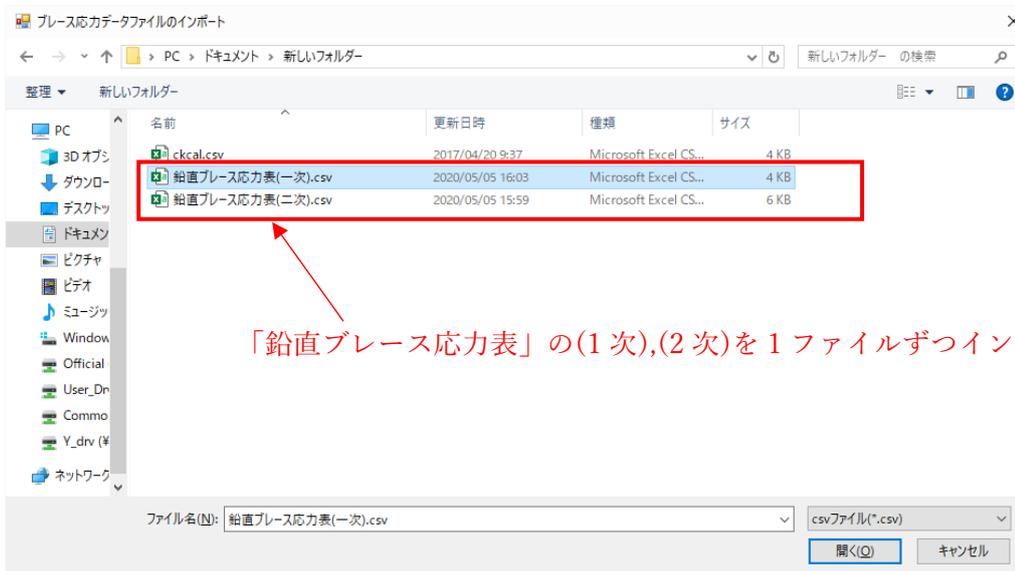
インポートボタンからブレース応力をインポートすることが可能です。

事前に以下のファイルを[SS7]から出力する必要があります。

1.[SS7]で一貫構造計算後、[結果]の[18.結果 CSV 出力]から[5.10.応力表(鉛直ブレース)]と[12.9. 応力表(鉛直ブレース)]を出力してください。なお、任意配置ブレースの場合インポートすることは出来ません。

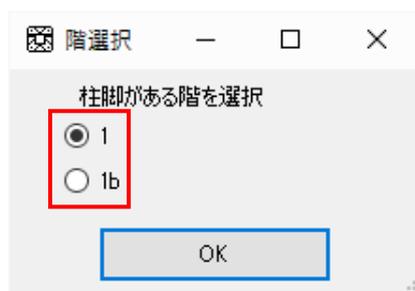
2.前頁までの①～③の操作を行い、「ブレース応力入力」画面でインポートボタンをクリックし、下記画面を表示します。

3. 「鉛直ブレース応力表」の(1次),(2次)を1ファイルずつインポートします。



「鉛直ブレース応力表」の(1次),(2次)を1ファイルずつインポートします。

4.柱脚がある階を選択します。



5. ブレース取付角度を手入力します。

ブレース応力入力

通り名		P1				P2				P3				P4								
X	Y	$\theta 1$	短期XL 軸力	短期XR 軸力	終局XL 軸力	終局XR 軸力	$\theta 2$	短期XL 軸力	短期XR 軸力	終局XL 軸力	終局XR 軸力	$\theta 3$	短期YL 軸力	短期YR 軸力	終局YL 軸力	終局YR 軸力	$\theta 4$	短期YL 軸力	短期YR 軸力	終局YL 軸力	終局YR 軸力	
X1	Y	30	-121.3	0.0	-447.6	0.0							-156.3	0.0	-764.0	0.0						
X2	Y		-131.0	0.0	-807.1	0.0																

ブレース軸力は引張版を正とする。

ブレース応力をインポートする場合、角度を別途手入力する必要があります。

短期応力インポート済
終局応力インポート済

インポート OK

ブレース取付角度は別途手入力する必要があります。

1次をインポートすると短期応力, 2次をインポートすると終局応力インポート済の表示が現れます。

⑤ エクスポート

ハイベースブレース偏心

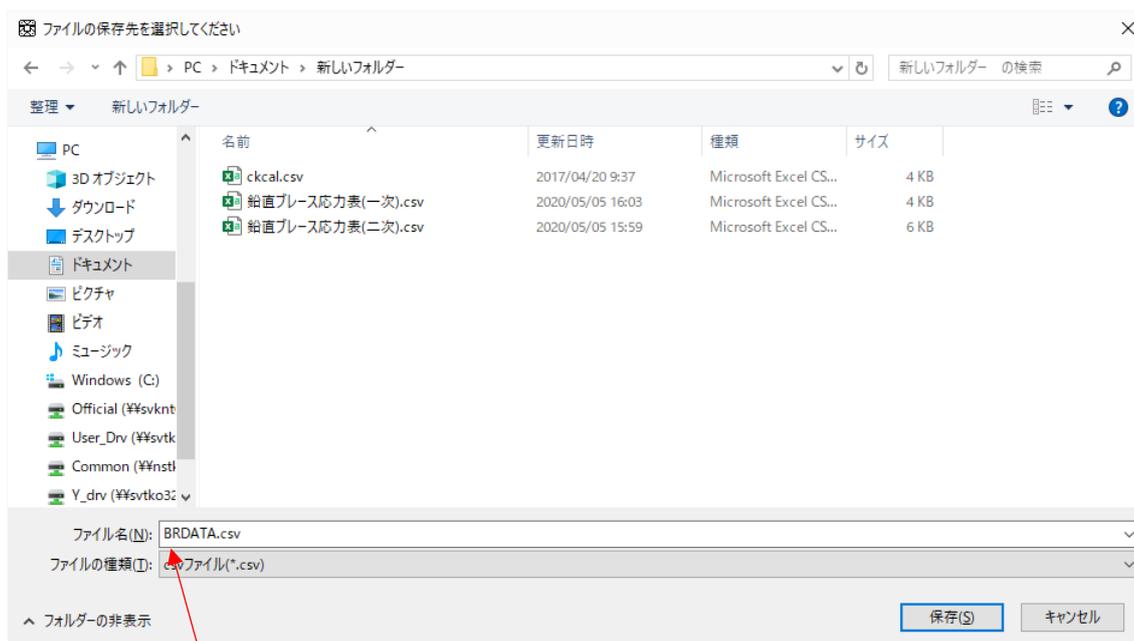
柱脚データインポート

偏心ブレース箇所

ブレース応力入力

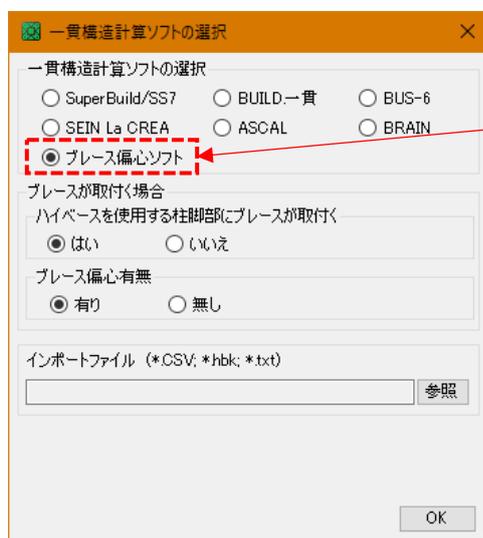
エクスポート

「エクスポート」をクリック



任意の名前を付けて保存（デフォルトはBRDATA.csv）

- ⑥ 「ハイベース検討システム」に⑤で保存したデータをインポートし、ブレース偏心量を入力します。



「ハイベース検討システム」でインポートする際、一貫構造計算ソフトによらず「ブレース偏心ソフト」を選択してください。

（ブレース偏心量の入力方法はハイベース検討システムマニュアルをご確認ください。）

以上